

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC栗生教室(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 10日 ～ 2026年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 4月 10日 ～ 2026年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	見通しのつくプログラムと音楽を活用し言語介入ができる限りなくした音楽療育が強み。	子どもたちが見通しが持てるようプログラムの流れを掲示し、それを繰り返し行うことによって、自ら考えて切り替えられるように促し、興味を持って活動に参加してもらえるよう、流行りの歌なども取り入れ積極的に参加してもらえるよう工夫しております。	子どもたちが活動に参加するだけでなく、自分たちでプログラムの中身を選定したり、MCとして自ら活動を進めていく形も構築していきます。
2	異年齢同士で協力しながら活動を行っている。	活動の中で、未就学児と小学生と一緒に活動するため、それぞれに合ったプログラムを提供できるよう進めています。	未就学児と小学生と一緒に活動する中で、未就学児はお兄さんたちのように立派に頑張りたいという気持ち、小学生は、未就学児のお手本となれるようお互いに刺激し合いながら活動できるよう進めて参ります。
3	経験豊富な職員と安定した職場環境。	職員間のコミュニケーションを密に行い、些細なことでも情報共有ができるよう職場環境を構築しております。	保護者様とも密に連携し、どの職員とも関係性が構築できるよう努めて参ります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童館や学校、関係機関や幼稚園などとの実際の様子を確認できていない。	担当者会議などで情報共有は行われているが、実際に療育内容を見てもらうなど、活動の様子を互いに見る機会がなかったと感じています。	情報共有を含めて、実際の様子を確認する機会を設けてもらえるよう調整していきます。
2	保護者様に活動の場や交流の機会を設けることができなかった。	活動の中で、日々の支援に追われてしまい計画しるところまで至らなかった。	次年度は、開催できるよう努めて参ります。
3			